

地域課題・目指す将来像

地域課題

- IT産業の下請構造、低い労働生産性、伝統的な雇用体系等による人材流出の負のサイクルがあり、**高度IT人材の首都圏流出が大きな課題**
- 産学金官によるスマートシティ推進と合わせ、地方大学の知見を活かした高付加価値産業を構築し、**高度IT人材が魅力を感じるスタートアップ拠点を形成する必要がある**

将来像

- **東北第2位のIT産業集積の強化**（2030年IT戦略実現：①IT産業売上高3倍、②IT事業所数2倍、③高度IT人材地元定着50%増）
- **高度IT人材が魅力を感じる高付加価値産業の創出**（北東北の人口減少の防波堤構築）

推進体制

地方公共団体

盛岡市・岩手県・
滝沢市・矢巾町

民間事業者

湊運輸倉庫・プラスプラス・
TOLIMS・manordaいわて・
NTT東日本・AP TECH・
doors・Chaos Edge・フロム
いわて 他

盛岡未来技術地域実装協議会
～(別称)マルチモノ盛岡推進協議会～

学術機関等

岩手大学・岩手県立大
学・岩手県立産業技術短
期大学校・いわて産業振
興センター・岩手県工業技
術センター他

現地支援責任者

(内閣府地方創生推進事務局)

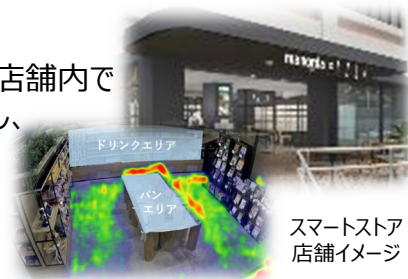
伴走型支援

国
デジタル庁・警察庁・総務省・文
部科学省・厚生労働省・経済産
業省・国土交通省 他

課題解決に向けた取組

未来技術の社会実装による世界で活躍するスタートアップ拠点の形成

- **ドローン×映像解析AIによる橋梁点検の効率化事業**
 - ・ ドローンにより撮影した画像をAIが画像解析し、3D画像として亀裂や損傷度合いを表示する仕組みを構築
- **xR技術活用によるさんさ踊り等伝統文化伝承事業**
 - ・ 踊り手の動きをモーションキャプチャーでデータ収録し、高ポリゴンのキャラクターにより再現する
- **デジタル技術を活用したスマートストア事業**
 - ・ **コネクテッドコマース**を試行するとともに、モデル店舗内で**AIカメラを活用してマーケティングデータを解析し**、地域企業への普及促進を図る
- **ITを活用した地域医薬連携モデル化事業**
- **自動運転EVで城跡を巡る「MorioKart」走行デモ事業**
- **チャバタケ doors メタバース事業**
(メタバースの教育活用事業)
- **通信及びIoT技術を用いたリモートメンテナンス活用による工場内生産工程の改善事業**



スマートストア
店舗イメージ



メタバース模擬授業イメージ
(写真：盛岡市提供)

2022年度の 主な取組

- (スマートストア) 店内展示及びECサイト販売とデータ収集・分析
- (地域医薬連携) 関係機関ヒアリング及びアプリ開発と現場実証
- (メタバース) 仮想空間上でのアクティブラーニングの実践と検証
- (自動運転EV) 公園内公開走行デモンストレーション
- (リモートメンテナンス) 工場へのIoT導入とデータマイニング

取組内容

デジタル技術を活用したスマートストア事業
～【AZLM CONNECTED CAFE manorda いわて店】オープン～（2022年10月26日）

- 「店舗の省人化×ICTによる非接触購買」と「店舗運営の効率化」を図りながら、地域産品及び情報の展示を通じて、ECサイトへの誘導や関係人口創出のPRを行う**新業態店舗（スマートストア）**の実証実験を開始
- 店舗内では、**映像AIサービスを活用**し、入店者の属性分析のほか、商品の視聴率やPOP等の販促効果、来店者が多く滞在したエリアを可視化し、それらを**出店者に還元**することでプロモーションや販促の効果検証につなげる

➤ **AZLM CONNECTED CAFE manorda いわて店**

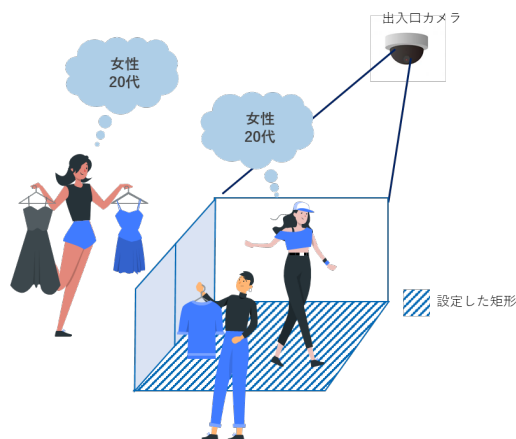
- ・ 店舗には、地域産品をはじめとした商品が多数陳列
- ・ 来店客は約8,000人（2022年11月累計）



➤ **映像AIサービスの活用**

- ・ 映像AIサービスを活用して収集したデータは、出店者へ還元
- ・ 商品のプロモーションやマーケティングに活用

【入店者属性分析】



【商品棚滞在時間】



取組内容

自動運転EVで城跡を巡る「MorioKart（もりおかカート）」走行デモ（2023年1月22日）

- 自動運転EV（電気自動車の自動運転）で盛岡城跡の石垣を巡り、5Gにより車載360度カメラの映像を共有し、路面を遠赤外線レーザーでセンシングして各種データを取得しながら走行し、新たな観光交通システムの実現可能性を探るもの
- 盛岡市内冬季の雪道や凍結路面の坂道等での安全走行について実証
- 障がい者や高齢者の利用に配慮した自動運転の実現、通勤・通学・通院・買い物支援など次世代住民サービスの実現検討やマイクロツーリズムやグリーンスローモビリティの可能性を模索。当日は約90名の一般市民が試乗を体験

➤ MorioKart(もりおかカート)

- ・路上に敷設の電磁誘導線を感知して走行
- ・カートにはガイドさんが同乗し、公園内を案内



- ・車載の360度カメラの映像を5G通信によりリアルタイムで伝送
- ・遠隔から走行状況を確認



・体験乗車された方々へ配られた記念乗車券